

第135回経営協議会議事要旨

日 時： 令和8年6月22日（月） 13：30～15：20

場 所： 山口大学事務局1号館4階 特別大会議室（オンライン会議システム GoogleMeet 併用）

出席者： 谷澤、山田、佐藤、野崎、田上、原山、松野、上西、竹松、松永、重松
今村、岩崎、恵良、川上、末永、田子、丸山、棕梨、山本（佳）、山本（謙）、吉武

欠席者： 七村、鷹岡、木村、齋藤、桜井、平屋

リポーター： 福田、木村

議 題：

議事に先立ち、資料「令和8年度経営協議会構成員一覧」に基づき各委員の紹介及び挨拶があった。

I. 議事要旨の確認

学長から、第134回経営協議会の議事要旨の確認があり、原案のとおり承認された。

II. 審議事項

1. 第4期中期目標期間4年目終了時評価（業務実績報告書）について

山田理事から、第4期中期目標期間4年目終了時評価（業務実績報告書）について、審議資料1に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、役員会に付議することとなった。

2. 学長選考・監察会議委員の選出について

田上理事から、学長選考・監察会議委員の選出について、審議資料2に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

3. 就業規則の一部改正について

田上理事から、就業規則の一部改正について、審議資料3に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、役員会に付議することとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員）

○URAの強化は重要だが、上位層のURAを教育職へ移行させる考え方を伺いたい。

◇URA体制の強化は重要であり、特に上位層のURAを大学教育職（教員）へと移行・登用していくキャリアパスの構築が必要である。現在、本学には約10名のURAが在籍しているが、それぞれの任期満了や契約更新のタイミングを捉え、チーフURAやシニアURAといった上位区分へのシフト、さらには教育職への移行を順次進めていく考えである。

○具体的なリクルート方法はどうなっているか。

◇一般的な公募に加え、人的ネットワークを活用したリクルートを行っている。確保策については、公募に加えて地縁のある人材へのアプローチや、教員職へのキャリアパスを明確に提示することで待遇の魅力化を図っている。

4. 令和7年度決算について

田上理事から、令和7年度決算について、審議資料4-1～4-6に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、役員会に付議することとなった。

5. 附属病院の令和7年度経営実績及び令和8年度経営計画について

松永副学長から、附属病院の令和7年度経営実績及び令和8年度経営計画について、審議資料5に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認され、役員会に付議することとなった。

6. 2025年度山口大学基金の収支状況について

重松副学長から、2025年度山口大学基金の収支状況について、審議資料6に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

○約5億円の残高がある中、インフレ局面における資産運用のルールはどうなっているか。支出削減だけでなく、資産運用の収益化も検討すべきではないか。

◇現在、山口大学基金は基金を取り崩している状況にあり、今後、基金の資産運用について確認する。

Ⅲ. 報告事項

1. 令和8年度入学者選抜試験実施について

野崎理事から、令和8年度入学者選抜試験実施について、報告資料1に基づき説明があった。

2. 令和7年度資金運用報告について

田上理事から、令和7年度資金運用報告について、報告資料2に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

○伝統的資産以外への投資や、学内の遊休不動産の活用状況はどうか。

◇外部委託運用の中で、ポートフォリオを構築する方針である。伝統的資産を主軸としつつ、リートなどのオルタナティブ投資も一部組み入れ、多様な運用を試行していく。

3. 令和7年度医学部附属病院セグメント決算概要について

松永副学長から、令和7年度医学部附属病院セグメント決算概要について、報告資料3に基づき報告があった。

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

○民間病院以上の改革努力を高く評価する。山口大学は近隣の国立大学に比べて寄附金が少ない。地域医療の維持には大学病院のレベル維持が不可欠であり、経済界としても寄附の呼びかけ等に協力したい。

◇大学としても医療と教育を支えるインフラとして重要性を認識しており、各方面への働きかけを強めていく。

○国からの補正予算等は都道府県経由の配分となるため、県との関係性が受取額の差に直結する。平時からの強固な連携が重要である。

◇県の健康福祉部等とは密に連携している。昨年度は例年以上の補助を得られたが、単年度限りの支援に終わらないよう継続して要望を続けていく。

○看護師のマスクの色分けによる残業削減等、現場の工夫は働き方改革への理解を患者に促す上でも非常に有効な取組である。

Ⅳ. その他

1. 山口大学の主な動きについて

林総務部総務課長から、令和8年4月から6月までの山口大学の主な動きについて、その他資料1に基づき説明があった。

【配付資料】

令和8年度経営協議会構成員一覧

第134回経営協議会議事要旨(案)

<審議資料>

- 1 第4期中期目標期間4年目終了時評価(業務実績報告書)
- 2 学長選考・監察会議委員の選出
- 3 就業規則の一部改正
- 4-1 令和7年度決算
- 4-2 R07 財務諸表
- 4-3 R07 決算報告書
- 4-4 R07 事業報告書

- 4－5 監事監査報告書
- 4－6 監査法人監査報告書
- 5 附属病院の令和7年度経営実績及び令和8年度経営計画
- 6 2025年度山口大学基金の収支状況

<報告資料>

- 1 令和8年度入学者選抜試験実施
- 2 令和7年度資金運用報告
- 3 令和7年度医学部附属病院セグメント決算概要

<その他資料>

- 1 山口大学の主な動き